

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2016年 12月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 12月の山行計画 》

No. 3, 298 房総風土記の丘ウォーキング L 中神琳枝

なつかしい風景との出会いを求めて

12月4日(日) 8:03 上野発勝田行(12番線) = 8:36 我孫子 8:46 成田行
= 9:15 安食 = タクシー約10分 房総のむら入口 9:40 歩き出し - 1時間40分
房総のむら見学 - 1時間 岩屋古墳 - 15分 房総風土記の丘資料館 - 40分 下総松崎

歩程：3時間35分 + 2時間……5時間35分 15:15 下総松崎駅に着く。

地図：2.5万図“成田”

費用：約2,500円

申し込み：12月2日(金)までにリーダーへ。

No. 3, 299 弾左衛門の峰～新多摩線鉄塔 (B) L 佐藤正信

12月4日(日) 高尾駅北口 8:10分発(陣馬高原行バス) = 8:34 夕焼 小
焼(集合) 8:50 夕焼小焼バス停 歩き出し - 宮尾神社(295m) - 370m - 1:10
分 高留沢の頭(589m) - 鳥屋切場(600m) - 1:00分 弾左衛門の峰(669m) -
新多摩線鉄塔82号 - 30分 81号鉄塔分岐(724m) - 80号鉄塔 - 40分 西げいと沢
橋 - 龍泉禅寺 - 20分 夕焼小焼バス停 バス停に14:00着予定 夕焼小焼けバス停
発(14:32、15:32)

歩程：(3時間30分～4時間) + 1時間30分……5時間30分

地図：2.5万図“与瀬、五日市”

交通費：約2,000円

申し込み：前日17:00までに電話又は、メールで

備考：弾左衛門の峰までは点線ルートをゆっくり歩きます。又前回9月No. 3, 280
の月見橋～落合橋をカットしました。八王子の静かな山歩きが出来る人希望(天

気予報、降水確率 50%で、中止かを決めます。)

No. 3, 300 大桑山 < B >

L 五十嵐知也

12月10日(土) 高尾発7:26 小淵沢行=8:11 猿橋 歩き出し-30分 田幡橋-1時間 幡野山-1時間20分 鈴ヶ尾山-40分 大桑山-40分 563m点-40分 藤崎-50分 鳥沢駅

歩程: 5時間40分+1時間……6時間40分

地図: 2.5万図 “都留、大室山、上野原”

費用: 約3,000円

申し込み: 12月7日(水) までにCメール(090-3809-3629)又は電話でリーダーへ。

備考: 簡単なバリエーションだが下りは迷いやすいかも。

No. 3, 301 鷹取山 < B >

L 河野良子

藤野駅のすぐ北側の低い尾根です。

12月11日(日) 8:44 高尾発 小淵沢行=9:03 藤野 9:20 歩き出し-40分 岩戸山(377m)-30分 小淵山(350m)-1時間20分 鷹取山(472.4m)-1時間 藤野駅

歩程: 3時間30分+1時間30分……5時間 14:20 藤野駅に着く。

地図: 2.5万図 “与野”

費用: 約2,500円

申し込み: 12月9日(金) までに電話、FAX、Cメールでリーダーへ。

備考: 当日連絡用 TEL 080-5531-3167

No. 3, 302 黒山から岩茸石山 < B >

L 飯田隆一

12月16日(金) 立川発7:51 奥多摩行=8:21 青梅=(タクシーで上成木) 9:00 歩き出し-25分 小沢峠-35分 長久保山-50分 黒山-50分 奥越山-30分 岩茸石山-15分 馬仏山-40分 34号送電鉄塔-15分 川井駅

歩程: 4時間20分+1時間30分……5時間50分

地図: 2.5万図 “原市場、武蔵御岳”

費用: 約3,000円

申し込み: 12月14日(水) までに電話、FAX, SMSでリーダーへ。

備考: アイゼン、スパッツ持参の事。当日連絡用 TEL 090-5783-8099

No. 3, 303 丹沢 南山 < C >

L 高橋輝男

12月18日(日) 8:50までにJR横浜線橋本駅(京王線橋本駅)北口バス乗場「鳥居原ふれあい館」行き前に集合。9:00発バス=9:55鳥居原ふれあい館10:10歩き出し-5分芋窪橋-55分、384mから送電線鉄塔-30分権現平展望台(568.5m)-30分南山-55分服部牧場-35分半原バス停

歩程: 3時間30分+1時間50分……5時間20分 15:30半原バス停に着く。
15:50発バスで本厚木駅へ。

地図: 2.5万図 “青野原・上溝” 昭文社 “丹沢”

費用: 約2,500円(新宿起算)

申し込み: 12月16日(金)20:00までにリーダーへ。

備考: 新ハイ724号参照。

京王線新宿発橋本行7:49=8:42橋本駅・・・(440円)

JR新宿発7:51=8:27八王子8:31=8:43橋本駅・・・(800円)

JR品川発7:19=7:44東神奈川7:46=8:38橋本駅・・・(920円)

No. 3, 304 秋山二十六夜山 L 飯田隆一

12月23日(金・祝) 7:47高尾発河口湖行=8:09上野原8:30(無生野行バス)=9:10坂崎 歩き出し-35分東尾根取り付き点-1時間35分秋山二十六夜山(ρ971.8m)-45分下尾崎橋(-45分寺下峠-1時間塩瀬大橋-20分梁川駅)

歩程: 2時間55分+1時間35分……4時間30分 13:40下尾崎橋バス停に着く。

地図: 2.5万図 “大室山、上野原”

費用: 約4,000円(新宿-上野原970円、梁川-新宿1140円、バス760+900円)

申し込み: 12月21日(水)までに電話、FAX, SMSでリーダーへ。

備考: 下尾崎橋発14:46発の上野原行のバスに乗り、上野原駅でミニ忘年会を行います。14:46のバスに間に合わなかった場合は梁川駅まで歩きます。その場合に歩程は+2時間05分です。アイゼン持参の事、松浦隆康著「バリエーションハイキング」P212参照。

No. 3, 305 石老山 <C> L 佐藤ツヤ子

今年最後の山で今年の無事を感謝し、頂上で名峰富士山を眺めながらのんびりし、下山後は登山者に人気の店で懇親会したいと思います。

12月25日(日) 8:07高尾=8:17相模湖8:35(バス)=9:05石老山登

山口 9:15 歩き出し-30分 顕鏡寺-30分 融合平見晴台-45分 石老山-55分 大明神展望台-30分 箕石橋-20分 プレジャーフォレスト前バス停=相模湖

歩程：3時間30分+1時間……4時間30分

地図：2.5万円 “与瀬、青野原” 昭文社 “高尾・陣馬”

費用：約3,000円（新宿起点）

申し込み：12月23日（金）までに電話、FAX, SMSでリーダーへ。

備考：

《 9月の山行報告 》

No. 3,277 岩櫃山と岩櫃城 <C>

予定日の9月4日が雨天の為9月17日に延期して実地しました。

パーティ：女性3名、男性1名 計4名

きっかけ：切っ掛けはボンヤリ聞き流していたラジオでした。今、話題の真田丸のことでした。岩櫃城が出て来たのです。★築城に当たり、山頂は岩山なので、山の中腹に築いたこと。★お堀は、城に向かって堅堀り、しかも放射線状になっていること。★堀の一部が今では遊歩道になっていること。そして唯一城の中も歩ける様になっていること。—<どんなとこ？> B型人間で好奇心旺盛な私としては<行って見たい。行って見よう>になってました。すっかりワクワク感先行。そこで観光協会にアクセスしたら、嬉しくなる位のどっさりの資料が届いたので。歴史を読み→落城伝説を読み→城破却を読み→登山まで出来るとなれば、流る気持ちは抑え切れず イザ！ イワビツへ！！

9月17日（土）晴。9:43 群馬原町駅着。舗装道路歩きはいやだネ、とタクシー呼ぶ。4人だと談合もスンナリと決まる。

10:20 歩き出し-10:45 岩櫃城址-11:55 岩場の山頂・ゆっくりランチタイム-13:00 下山スタート・旧赤岩コース、十二様どおりを下山-14:20 赤岩登山口着

雑感：1) ガイドには、とてもやさしそうに書いてあったが、それは城址まで。ここまでは確かに、堅堀の一部を辿っているんだなあ〜と実感しました。^{むかしひと}昔人気分で歩く。そこから先は、甘く見てはいけなかった。安易な気持ちで歩いていては事故につながりかねない。はしご・クサリ・岩場が数ヶ所ありました。変化に富んでいて退屈せずに歩く。山頂直下の岩場はかなり要注意でした。

2) 潜龍院跡の切ないストーリーに、ジーンと来る一幕も。(追われていた勝頼を迎え入れる為に3日で造った御殿、彼は辿り着く前に天目山で自刃)

3) 収穫後のくり畑でくり拾い。荒廃した土地でのみょうがさがし。山のめぐみに目のない3人のお局様に、殿1人、ア・ギャーツ。TTCいつものことで・・・

4) 折角だからいろいろ見て行こう。疲れの知らない4人組。下山後密岩神社まで足を伸ばす。ここでは「岩櫃城おもてなしの乱」なるものをやっていた。アンケートに答えてのガラガラくじ。正信さん、ビリくじだったね。4人いるんだから、おまけの一回お願いして、ツヤ子さんガラ・ガラ・ガラ。何等だったの？何んだかいいものもらってたネ。やはりこういう時は気合を入れて、勝つ気でやらねば。ネ。ん！！そうだ！！

5) 神社から見上げた岸壁の素晴らしさ。ワンダフル。紅葉も見たいネ。

密岩コースは、今年も死亡事故があり通行禁止でした。いのちとは、自分の持っている大切な、大切な時間だと思う。ムリせず楽しく山を続けられていたらとおもう。(神戸 記)

No. 3, 278 高柄山東稜から北稜 < B >

パーティ：女性7名、男性5名 L飯田 計12名、

9月10日(土)晴。落合入口でバスを降り歩き出す。登り口と思しき所が2か所あり迷ったが手前の所から登り出した。430m pの15m位西に寄った点で尾根に乗った。500m p 辺りから丹沢の峰々や御正体山が見えだした。初めての道標を過ぎると急に道が良くなり640m pのハウジ丸で昼食とした。高柄山に着くと数人の登山者が食事をしていた。下りに入り縦走路が右に曲がる所が北稜の入口である。最初は広い尾根で分かりにくい、やがて尾根らしくなってきた。思っていたよりは赤テープが少ない。610mで正面の赤テープを確認して進み小さな高台の様なところから右の北東方向に進路をとる。道が消えたり又薄い踏み跡が現れたり、繰り返される。ここらあたりから笹が伸びていて道が見えにくい。何回も立ち止まり地図と磁石で現在の位置を確認。467mあたりから分かり易くなると思ったがどうしてどうして難しい。ただひたすら背丈位の笹の中を北方向に進む。やっとお墓の横に出た。畑をまわって舗装道路に出る。やれやれと日影で休憩。暑い日ざしの中、駅までは2km位ある。四方津駅について解散。すぐにきた電車に乗った。今回の山行は特に下りのコースが分かりにくく皆さんに大変助けられました。

落合入口 8:50 歩き出しー登り口 9:20ー尾根に乗る 9:50ー500m p 10:30ー552m p 10:45ーハウジ丸(640m) 11:30~12:00ー高柄山 12:25~45ー北稜

分岐 13:00—舗装路に出る 14:50—四方津駅 15:30

(飯田 記)

No. 3, 279 太田峠から斧窪御前山 <C>

雨天の為中止しました。

**No. 3, 280 弾左衛門の峰～新多摩線鉄塔 **

天候不良の為中止しました。

**No. 3, 281 鹿倉山 **

天候不良の為中止しました。

No. 3, 282 柳瀬川回廊を巡るウォーキング

パーティ：女性4名 計4名

9月25日(日)晴。駅前から歩き出し道なりに進み空堀川に出て川岸をたどり15分ほど歩いて川の流れに気付く。方向が逆。気をとりなおし元へ。「柳瀬川回廊」と呼ばれる散策コースを歩き、石田橋のたもとからせせらぎ公園へ。住宅の間の水路には清冽な流れに小魚と水草が揺れている。松柳橋に出て左岸を歩きます。河川敷の中では家族連れがバーベキューなどをしていて賑やか。やがて金山緑地公園に入ります。園内には雑木林や小川や池があり、のんびりムードの敷地なので憩う人が多く私達も昼食にする。公園を出て草の茂った堤防の上の遊歩道を進み城前橋に出、左折して武蔵野線のガードをくぐって城山神社の標柱をみて急な階段を登りつめ城山神社に。ここは滝の城の本丸跡だった所です。昔ながらの面影を残している神社に参拝。城前橋まで戻って橋を渡り柳瀬川の右岸の桜並木を歩くと鮮やかな赤色の彼岸花に囲まれた道になり今日一番の笑顔が広がる。水と緑と花の遊歩道に気持ちの良い空間が広がる道をたどり金山橋を過ぎ、川から柳瀬川通りに出て住宅地の中にある中里富士塚に着き整備された道を登り休憩。道なりに進みケヤキ通りを歩き清瀬駅に向かう。

西武秋津駅歩き出し 10:10—梅坂橋 11:30—金山緑地公園 12:10～13:00—城山公園 13:40～55—中里富士塚 14:55～15:05—清瀬駅 15:40 (中神 記)

**No. 3, 283 蓼科山 **

雨天の為中止しました。

《 お知らせ 》

☆ 1月の山行予告

- | | | |
|----------|--|--------|
| 1月8日(日) | 新年山行 | L 中神琳枝 |
| 1月中旬 | 城峰山から風早峠 | L 飯田隆一 |
| 1月14日(土) | 城山から南高尾・草戸峠 | L 佐藤正信 |
| 1月中旬 | ゲレンデスキー(嬬恋又はガーラ湯沢) | L 飯田隆一 |
| 1月22日(日) | 大峰山から御岳山(小川町駅の南2kmにある高さ300m程度の山です) <C> | L 高橋輝男 |

☆ 次の方が入会しました。

☆ 12月の役員会は12月7日(水)練馬区役所19階1906会議室18:00~20:00です。

☆ 1月の山行計画及び山行報告を10月31日(月)までに飯田迄提出して下さい。

《 ちょっとひとこと 》

< 劔岳の三角点 >

岩松正昭

当会の会報には三角点に関する説明が頻繁に記載されています。それだけ三角点に造詣の深い方が多く、三角点を大切にしようとの思いが強いのだと思っています。私の寄稿文に度々「劔岳 点の記」の話が出てきて、今更の感がありますが、映画や原作では分からなかったいくつかの疑問について調べてみました。

1. 最初に登ったのは…これは明治40年に測量隊が登頂した時に発見した錫杖や鉄剣から千年以上も前の修験者のものとされているが、柴崎が前年の調査から一旦東京に戻る際の汽車の中で老人から江戸時代にある侍が登頂したという話を聞いている。このことは何の記録も無くはっきりしていない。ただ劇中行者様(夏八木勲)が柴崎に「雪を背負いて登り、雪を背負いて降りよ」と言っているのはこのこと(侍も長次郎谷を通った?)を指すのではないだろうか。

2. 柴崎は測量隊最初の登頂者か…柴崎や宇治長次郎は最初の登頂者ではなく、測夫の生田信や他の案内人たちがRFのために登り、その時に発見した錫杖や鉄

剣を生田が持ち帰り、現在は芦峯寺の立山博物館で展示されている。実はこの時に長次郎も同行したらしいが、当時立山曼荼羅で知られているように、死者の山劔岳に登るのはタブーとされており、禁忌の山へ長次郎が登ったと知れたら立山の登山基地である芦峯寺の人々からどんな扱いを受けるか分からないため長次郎の登頂は秘匿されたらしく、この辺りは記録もはっきりせず謎として残っている。

3. なぜ四等三角点だったか・・・映画の最後では頂上付近に四等三角点が設置されたが、それは三等点のような標石ではなく、測標といわれる簡易な三角点だった。実際道なき道を登って重量 90kg 以上の三角点（標石と盤石の 2 つ 1 組）と 1 本 4m もの長さの三角点上の櫓（一時標識という）の材料である丸太を人手で持ち上げることは困難で、代わりに木材 1 本だけの四等点が設置された。最近 NHK の三角点設置シュミレーション番組で劔岳に三等三角点の資材を運び上げようと試みたが、現在の一般登山道を通っても難所の「カニ」で行き詰まり撤退してしまった。（当時は鎖等はなかったので番組では利用しなかった）。今ある三等三角点は測量隊の登頂後 97 年を経た平成 16 年に途中までは人手で、最後はヘリコプターで運び上げて埋設されている。

4. 三角点の高さは・・・明治 40 年の設置時に周囲の三角点から測標を見た結果 2998m とされているが、その後暫らく 3003m と表わされた時期もあった。三等点設置後の測量では 2997m と発表され、柴崎の測量値はかなりの精度と評価されている。劔岳自体の最高点は三角点から 12m 程離れた山頂の岩が 2999m で、これが我々が認識している劔岳の高さとなっている。

5. 測量記録としての「点の記」・・・明治 40 年に設置された三角点は四等であったが故に、三角点の位置を記録する「点の記」は三等点以上について作成するという規定があつて「劔岳 点の記」は作成されなかった。そして平成 16 年に劔岳に三等点が設置された時に国土地理院によって「三等三角点劔岳 点の記」が作成され、選定日は明治 40 年 7 月 13 日、測定者柴崎芳太郎として記録されている。

注) R F = ルートファウンディング